

古市公威博士 生誕150年記念展

●開催期間 平成16(2004)年
12月12日(日)～12月23日(木・祝日)

●開催場所 好古園 ●料金 無料(好古園入場料は必要)

■ごあいさつ

安政元年(1854)、古市公威は、姫路藩士・古市 孝の長男として江戸に生まれました。

開成学校進学後、第1回国費留学生として明治8年(1875)、仏国へ留学し、エコール・サントラルおよびパリ大学を卒業しました。帰国後、内務省土木局技師を手始めに、帝国大学工科大学々長、内務省土木局長・技監に就任し、工学教育と国土づくりに邁進しました。その後、通信次官、鉄道作業局長官、京釜鉄道総裁、理化学研究所長、東京地下鉄道社長など、工学・工業の幅広い分野で数多くの要職を歴任し、日本の近代化に貢献しました。初代土木学会会長でもあります。

司馬遼太郎は「文明の配電盤」と古市を評しています。姫路との関係をみますと、古市公威は文久3年(1863)この地に移り好古堂で学びました。その期間は2年と短いのですが、勝海舟の門下生であった春山乙彦を師に得て、やがて迎える新時代の精神を感得したものと思われまふ。古市公威の生誕150周年にあたり、好古堂跡地・好古園で、姫路の生んだ偉人・古市公威とその時代を振り返っていただければ幸いです。

平成16年12月
土木学会会長 森地 茂

■展示内容

パネル「古市公威とその世界」(社)土木学会)

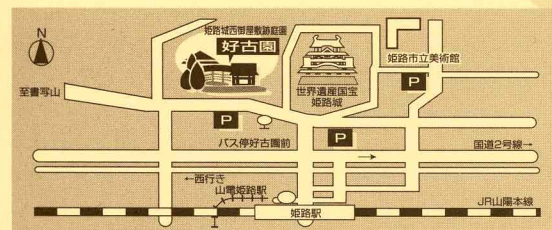
エコール・サントラル留学時の
自筆ノート(東京大学)

自筆扁額・掛軸・男爵記など(姫路市)

■主催 (社)土木学会

■協賛 国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所

■後援 東京大学・姫路市・姫路市教育委員会



姫路城西御屋敷跡庭園 好古園

〒670-0012
姫路市本町68番地(姫路城西隣) TEL.0792(89)4120 FAX.0792(89)4130

●入場料:一般 300円、小・中学生 150円 ●開園時間:9:00～17:00
(姫路城・好古園共通券 大人720円、小人280円) (入園は30分前まで)